

会派視察研修計画書

令和 6年 7月 5日

碧南市議会議長 様

会派名 碧南維新の会

代表者名 長崎章浩

下記のとおり、視察（研修）を計画したので届け出ます。

| | | |
|---------|--|---------------------------------|
| 参加議員 | 長崎章浩 | |
| 日 時 | 令和 6年 7月 30日（火）～令和 6年 8月 1日（木） | |
| 視 察 先 | 7/30北海道由仁町、7/31北海道富良野市、8/1北海道室蘭市 | |
| 研 修 内 容 | 7/30 スマート農業への取組みについて 7/31 スマートシティへの具体的な取組みについて 8/ 1 室蘭市立地適正化計画について | |
| 日 程 | 7/30 13:00～由仁町役場 7/31 13:30～富良野市役所 8/ 1 13:00～室蘭市役所 | |
| 交 通 手 段 | 公共交通機関利用 乗降車駅名（ 碧南中央駅 ） | 自家用車利用 _____ 台 所有者名（ _____ ） |

（議会事務局記入）

| | |
|---------|-------|
| 旅 費 の 額 | （内 訳） |
| 円 | |

会派視察研修報告書

令和6年9月13日

碧南市議会議長 様

会派名 碧南維新の会

代表者名 長崎章浩

下記のとおり、視察（研修）を実施したので報告します。なお、参加議員 1 名分の視察研修成果報告書を添付いたします。

| | |
|------------------|--|
| 参加議員 | 長崎章浩 |
| 日 時 | 令和6年7月30日（火）～ 令和6年8月1日（木） |
| 視 察 先 | 北海道由仁町 北海道富良野市 北海道室蘭市 |
| 研 修 内 容 | 由仁町 スマート農業への取り組みについて 富良野市 スマートシティへの具体的な取り組みについて 室蘭市 室蘭市立地適正化計画について |
| 視察先面会者 又は講師名等 | 由仁町 副町長 田中利行 議会事務局長 泉陵平 議長 後藤篤人 町議会議員 加藤重夫 産業振興課長 関沢和之 農政担当主事 細川翼 富良野市 議会事務局長 今井顕一 議長 渋谷正文 スマートシティ戦略課長 木村栄一 スマートシティ推進係長 杉村拓卓哉 スマートシティ戦略室長 西野茂紀 室蘭市 議会事務局長 安田智樹 都市政策課主幹 村井幹夫 都市政策課主幹 稲葉英憲 都市政策係長 秋田裕二 |

備 考



※ 相手方から収受した資料の写しを添付してください。

視察研修成果報告書

令和 6 年 9 月 13 日

議員氏名 長崎 章浩

視察（研修）に参加したので、下記のとおり成果を報告します。

記

1 期 間

令和 6 年 7 月 30 日（火）～令和 6 年 8 月 1 日（木）

2 視察先 北海道由仁町 北海道富良野市 北海道室蘭市

3 視察の種類 みらい市民クラブ 碧南維新の会合同会派視察

4 視察の成果等

由仁町【スマート農業への取り組みについて】

農業従者の人口、年々減少を続け、農業従の高齢化も進み後継者不足も深刻化している。農業経営を継続に維持、発展させていくために、最先端技術を活用した「スマート農業」の実践投入を行った。

ドローンを活用する事によって大幅な作業工数の低減、工数の低減により人件費の削減が実現した。令和 2 年には工数 274.3 が 101.4 数と 63.0% の減少を実現。人件費は、411,500 円から 152,100 円と 63.0% 減を実現している。

ドローンを導入する初期費用が高額になるのがネックだが、ドローンはスマート農業だけでなく災害時は被害状況の確認作業等にも使用できるのが魅力的だと思った。

- ドローン1機の価格が約150万円
- 実用的な稼働するバッテリーが5つ必要 約100万円
- ドローンの操縦資格取得費用が約30万円



富良野市【スマートシティの具体的な取り組みについて】

富良野市では近年の少子高齢化や労働人口の減少、感染症対策等の不測の事態への対応が求められる様になった。令和2年スマートシティ戦略室を新たに立ち上げた。不測の事態への対応が求められる中、デジタルツールの利活用を重要課題としている。

主な取り組みとしては、市役所内の業務改善、市民の生活支援、観光客向けの利便性の向上支援等にいたるまで多岐に渡る。民間企業や大学と連携を強化し、官民一体となって積極的な取り組みを進めている。

【スマートシティ実現に向けた取り組み事例】

●保育所のICTシステム導入

内閣府の事業である「地方創生人材支援制度」を活用し、デジタル専門人材としてNTT東日本株式会社の社員2人を非常勤職員として派遣してもらい「保育所へのICTシステム導入」

を実施したICTシステムを利用帳票作成（日誌・指導案など）、登校園管理。保護者とのコミュニケーションなどに用いられている。この取り組みにより、大幅な時間確保が可能となった。その結果、子どもたちと接する時間や保育サービスの向上、円滑な保育所運営の貢献が期待されている。

●市役所業務の効率化

市役所職員でなければ対応できない業務に専念できない業務に専念するために、業務プロセスの抜本的な改革を可及的速やかに実施するために、ICT利活用推進業務委託の受託候補選定を公募型プロポーザル方式で実施した。

- ◆RPA（Robotic Process Automation）の実証実験と導入
- ◆ペーパーレス会議ソフトの実証と導入
- ◆音声文字変換ソフトの実証と導入
- ◆LINEによる情報配信
- ◆押印の見直し
- ◆文書管理システムの導入

書かない窓口が画期的であった。書かない窓口では、住民票等の書類を申請書なしで取得できる。職員、市民のストレスも軽減され時間の短縮にも繋がっている。碧南市でも導入できれば良いと思った。

室蘭市【立地適正化計画について】

室蘭市でも多数の課題があるので碧南市で適用するには難しいのではと思います。居住誘導地域に移住したくない住民は取り残されるの可能性がある。

最後に3日間にわたる関係各位感謝を申し上げ視察報告といたします。